

令和2年2月28日付け事務連絡「新型コロナウイルス感染症防止のための学校の臨時休業に関連した対応に係る給付費等の取り扱いについて」に関するQ&A（5月12日時点）

【原則】

・特別支援学校に通学する児童を受け入れた場合 【4/6 追記】【4/8 追記】【5/1 修正】

⇒特別支援学校は、~~平常通り開校しているため、休業単価にならない。~~

※国立大学法人等で休校となっている場合は、休業単価になる。

⇒さいたま市立及び埼玉県立の特別支援学校が臨時休業となるため、4・5月提供分はすべて休業単価となる。

・特別支援学校以外の小・中学校の特別支援学級や公立高等学校（以下、特別支援学校以外の学校）に通学する児童を受け入れた場合

⇒公立学校は、一律で休業となるため、休業単価となる。

・特別支援学校に通学する児童と特別支援学校以外の学校に通学する児童を同日受け入れた場合 【4/8 追記】

⇒特別支援学校に通学する児童は、通常単価となり、特別支援学校以外に通学する児童は、~~休業単価となる。~~

⇒一律で休業単価となる。

【報酬に関して】

・営業時間を拡大して受け入れた場合は、全員が休業単価となるのか。

⇒特別支援学校に通学する児童や特別支援学校以外に通学する児童を受け入れるために営業時間を拡大して実際に受け入れた場合は、全員が休日単価となる。

算定事例：平日の営業時間が12時から18時であるが、特別支援学校以外に通学する児童を午前中から受け入れるため、10時から営業した場合、午後に通所する特別支援学校の児童も含めて、全員が休業単価となる。

・8時間以上の受け入れを行った場合は延長支援加算が算定できるか。【5/12 修正】

⇒延長支援加算は運営規程上の開所時間が8時間以上の場合に算定できる加算であるため、~~今回は算定できない。~~

⇒運営規程上の営業時間が8時間未満であっても、臨時休業に伴って営業時間を拡大して児童を受け入れた場合は、算定可能。（令和元年4月提供分から）

・今回、平日に開所時間を拡大して受入れを行うが、時間拡大後の開所時間が6時間未満の場合、開所時間減算が必要か。

⇒運営規程上の平日の開所時間より長い時間で受け入れを行っていれば開所時間減算は適用しない。なお、運営規程上、通常の学校休業日（土日等）の開所時間が6時間の場合は、土日等の請求は開所時間減算になる。

・休業期間中の登校日となる児童を受け入れた場合は、休業単価となるか。【3/13 追加】
⇒休業単価となる。

・入学式や始業式の日は休業単価となるか。【4/6 追加】
⇒休業単価となる。

・さいたま市立学校（特別支援学校を除く）は、臨時休業期間中に分散登校を実施することとなっているが、登校日となる児童生徒を受け入れた場合も休業単価となるか。【4/6 追加】
⇒休業単価となる。

・特別支援学校の入学式や始業式等で登校した日も休業単価となるか。【4/8 追加】
⇒休業単価となる。

【その他】

・個別支援計画で利用の形態を定めているところだが、利用を増やすにあたり計画変更が必要となるか。

⇒今回の取り扱いはあくまで一時的な臨時のものであるため、変更は必要なし。ただし、新型コロナウイルス対応で臨時受入れを行った旨の記録を残しておくこと。

・なぜ3月13日までなのか。【3/12 修正】【4/6 修正】【5/1 修正】

⇒~~市教育委員会~~が示している臨時休業の期間に合わせている。~~なお、臨時休業期間が延長した場合は本取り扱いも延長する予定。~~

⇒~~本市の臨時休業が3月26日まで継続となったため、本取り扱いも3月26日までに延長する。~~

⇒~~本市の臨時休業が5月6日までとなったため、本取り扱いも5月6日までに延長する。~~

⇒本市の臨時休業が5月31日までとなったため、本取扱いも5月31日までに延長する。

・開所時間の拡大は必ず実施しなければならないものか。

⇒必須ではない。利用者の利用形態上必要があれば、可能な範囲で実施していただきたい。